

# グローバルヘルスセミナー

## 「地域医療から

## グローバル・ヘルスへ」

～人々の健康を守れる社会を目指して～



エイズ・結核・マラリアの  
ない未来に向けて  
日本の力を



FGFJレポート

August 2017 No.13

グローバルファンド日本委員会  
Friends of the Global Fund, Japan  
www.the-global-fund.org/japan

### WHO @ 西太平洋地域事務局から

感染症の対策には国境を越えた協力が重要です。グローバルファンドは国を単位とした支援を基本としています。それは別に複数国をカバーする地域アプローチも支援されています。13号のFGFJレポートは、世界保健機関(WHO)西太平洋地域の結核専門家、錦織信幸結核対策課長に、アジアにおける地域アプローチの必要性についてご紹介させていただきます。



世界保健機関とグローバルファンドの協力により、大洋州の島国でも通常の薬が効かない多剤耐性結核の患者に効果的結核治療薬を医薬品提供できるようになった。



## 講師：錦織 信幸 様

### WHO 本部グローバル結核プログラム医官

プロフィール：山梨大学卒。東京の地域医療に従事した後、国境なき医師団としてスリランカの紛争避難民支援に従事。2002年よりロンドン大学および長崎大学熱帯医学研究所にて研究活動の後、2005年より国連児童基金ミャンマー事務所に赴任し、災害援助、感染症・栄養障害対策にかかわる。2009年より世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局(WPRO)にてアジアにおける社会的弱者の結核対策を推進。2012年には厚生労働省に出向し日本の国際保健政策および結核対策に関わる。2014年よりWPRO結核ハンセン病課長、2017年より現職。

## 2017年12月19日(火) 18:10～19:30

会場：金沢大学宝町キャンパス（医学系）D棟3階 e-learning 室

連絡先：金沢大学医学系国際保健学

電話：076-265-2740 [gh@med.kanazawa-u.ac.jp](mailto:gh@med.kanazawa-u.ac.jp)

共催：未来医療研究人材養成拠点形成事業